

医療の質・安全学会第5回「新しい医療のかたち賞」の受賞者と受賞理由

①患者を中心とした取り組み部門

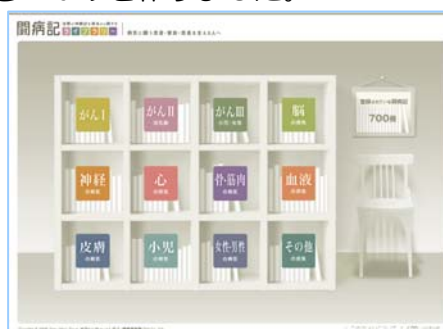
「健康情報棚プロジェクト」

<http://toubyoki.info/index.html>

「健康情報棚プロジェクト」は、患者や家族が求めている健康・医療情報の提供を目指す図書館員や医療者、患者などによる市民研究グループで、大学図書館員の石井保志さんを代表に、2004年8月に発足しました。

2005年6月には、都立中央図書館（東京・港）に約1000冊の闘病記を約220疾患に分類して寄贈して、初の「闘病記文庫」を開設。全国100以上の公共図書館や患者図書室に闘病記文庫や闘病記コーナーが誕生するきっかけを作りました。

さらにインターネット上の図書館として闘病記の概要や表紙などを確認できる「闘病記ライブラリー」（<http://toubyoki.info/index.html>）を開設。2011年6月、「闘病記文庫入門」を発刊。調査した約2400冊の闘病記リストを紹介するだけでなく、医療情報資源としての闘病記の提供方法をまとめました。



現在は闘病記の内容を分析し、患者が求める情報を解明する研究にも取り組み、さまざまな健康・医療情報を患者や家族の視点からまとめ、現物資料を手にとれる「健康情報棚」を公共施設に設置することを目指しています。

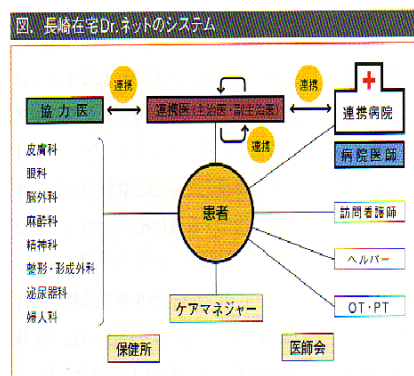
②医療者・医療機関を中心とした取り組み部門

認定NPO法人長崎在宅Dr. ネット＝長崎市

<http://doctor-net.or.jp/>

長崎在宅Dr. ネットは、自宅や介護施設にいながら病気の治療を受けたいと願う患者を支える医師のネットワークです。現事務局長の白髭豊医師と理事長の藤井卓医師が、「24時間365日体制の在宅医療を1人の開業医でやろうとすると長続きしない。多くの診療所で協力し、地域全体を網の目のように支えよう」と発想したのが始まりです。

2003年に発足したときには13人だったが、8年後のいま、メンバーの医師は協力医たちも含めて計約160人まで増えました。長崎市やその近郊で、がん末期の症状緩和や看取りにも対応しています。



1人の在宅患者に対し、訪問診療をする開業医2人が「主治医」「副主治医」になることによって、主治医が学会や休暇で留守にしている場合、副主治医が対応でき、医療者も患者も安心できます。連携のためには、信頼関係が大切と考え、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、歯科医師、栄養士など多職種での勉強会を頻繁に開き、スキル向上

と顔が見える関係を築いています。

知識や経験、情報の交換を支えたのは、結成当時に普及しはじめていた電子メールやメーリングリストといった情報通信ツールでした。主治医たちは、初めての症例や困難な事例があればメールで相談。ほかの開業医や専門医、病院医師から、たちまち助言が入ります。退院時に在宅主治医がいない患者がいれば、メールで募ってすぐさま決めていきます。この仕組みは、他地域にも広まり、長崎県内では大村市や諫早市など、県外では佐賀市、熊本市、浜松市などで取り組まれています。

③地域社会の取り組み部門

一関市国民健康保険藤沢病院（現名・国民健康保険藤沢町民病院）＝岩手県一関市（現藤沢町）

<http://www.echna.ne.jp/~fmh/>

国民健康保険藤沢町民病院（54ベッド、佐藤元美・病院事業管理者）は、1993年に開院、岩手県南部の過疎地域で黒字経営を続ける公立病院として知られています。特徴的なのは、地域住民との関係です。外部から診療応援に入る医師たちは、「医療は無駄遣いできないもの、住民が守り育てるもの」という意識が患者や住民に根付いていることに驚きます。

このような意識を育てたのは、医療者と住民の対話でした。

開院まもない95年から、スタッフが地区ごとに公民館に向いて「ナイトスクール」を開き、住民と話すことから始めました。「診察せず薬だけ欲しい」という生活習慣病の人に、「薬を飲むだけでは良くならない」と説明するための会でしたが、次第に、病気や介護の予防、病院経営に広がってゆきました。

2003年からは、生活習慣病の人、一人ひとりに担当看護師を決め、習慣改善の挑戦に伴走する「健康増進外来」に取り組み、成果を上げています。

元町長に請われ開院時から院長を務める佐藤元美医師は「医師と患者の関係は、患者の当事者意識に大きく左右される。その意識は自然に発生するものでなく、地域でつくって育てていくもの」と話しますが、この参加意識を遡ると、旧藤沢町が40年前から育ててきた「自治活動」に行き着きます。

旧藤沢町は9月末、一関市に合併し病院名も変更されましたが、広がった「地域」で、住民との対話をさらに深めると決意を新たにしています。

